

施策番号	主要施策	基本施策	取組の方向性	3年度の取組結果	取組結果への対応 (3→4年度)	4年度の取組結果	取組結果への対応 (4→5年度)	関連数値目標
2-(1)-①	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	① 精神障害のある人が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村における障害保健福祉の担当部局、保健所、都道府県における精神科医療及び障害保健福祉の担当部局等の関係者間の顔の見える関係を構築し、地域の課題を共有化した上で、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築の取組を推進します。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めます。	2-1 精神障害のある人の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数 2-4 精神病床における3か月時点の早期退院率 2-5 精神病床における6か月時点の早期退院率 2-6 精神病床における1年時点の退院率 2-9 精神病床における退院患者の退院後の行き先(在宅) 2-10 精神病床における退院患者の退院後の行き先(障害者施設) 2-11 精神病床における退院患者の退院後の行き先(介護施設)
2-(1)-②	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	② 精神障害のある人の経験や能力を生かすとともに社会参加を促進するため、ピアサポーターが支援者へとキャリアアップできるよう研修を実施するとともに、就労へつながるよう関係機関に対するピアサポートの普及や環境づくりに努めます。	・精神障害者ピアサポーター養成研修を開催し17名が修了しました。 ・地域包括ケアシステムの協議の場等を通して、ピアサポーターが活躍する場の創出・拡大について検討し、ピアサポーターの活用を推進するための体制整備に努めました。	・引き続き、他の障害を含めた障害者ピアサポーター養成研修として開催します。 ・地域包括ケアシステムの協議の場等を通して、ピアサポーターが活躍する場の創出・拡大について検討し、ピアサポーターの活用を推進するための体制整備に努めていきます。	・精神障害者ピアサポーター養成研修を開催21名が修了しました。 ・地域包括ケアシステムの協議の場等を通して、ピアサポーターが活躍する場の創出・拡大について検討し、ピアサポーターの活用を推進するための体制整備に努めました。	・引き続き、他の障害を含めた障害者ピアサポーター養成研修として開催します。 ・地域包括ケアシステムの協議の場等を通して、ピアサポーターが活躍する場の創出・拡大について検討し、ピアサポーターの活用を推進するための体制整備に努めていきます。	2-13 地域移行・地域生活支援事業の実ピアサポーター活動面所数
2-(1)-③	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	③ 「千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院」の認定病院を全障害保健福祉圏域に設置できるよう努めます。	・52病院のうち、25病院を認定(更新)しました。	・精神障害者の地域移行・地域定着に協力的な病院を認定していきます。	・52病院のうち、16病院を認定更新しました。(認定病院は令和5年4月1日現在(は25病院)	・精神障害者の地域移行・地域定着に協力的な病院を認定していきます。	2-12 千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院の指定数
2-(1)-④	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	④ 家族への支援については、家族が抱える課題等を共有できる機会の場や、それぞれのニーズに合った支援体制づくりの促進に努めます。また、家族会等の関係者と連携し、必要な障害福祉サービス等について情報提供します。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害者の家族支援に係る取組に努めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害者の家族支援に係る取組に努めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害者の家族支援に係る取組に努めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害者の家族支援に係る取組に努めていきます。	
2-(1)-⑥	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑥ 緊急時に支援が必要な事態が生じた場合に備えて、本人の状況に応じた適切な支援が行えるよう関係機関と協議しながら検討を進めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、医療連携体制の構築に係る事業の取組に努めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、医療連携体制の構築に係る事業の取組に努めていきます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、医療連携体制の構築に係る事業の取組に努めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、医療連携体制の構築に係る事業の取組に努めていきます。	
2-(1)-⑪	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑪ 安心して暮らせる地域生活の継続のため、多職種のアウトリーチや、訪問看護による支援体制の拡充に努めます。	・地域生活の継続支援を目的とし、精神保健福祉センターの多職種チームによるアウトリーチを実施しました。	・地域生活支援のためのアウトリーチを実施していきます。	・地域生活の継続支援を目的とし、精神保健福祉センターの多職種チームによるアウトリーチを実施しました。	・引き続き、地域生活支援のためのアウトリーチを実施していきます。	
2-(1)-⑫	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑫ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築するため、全市町村に協議の場を設置し、保健・医療・福祉関係者・訪問看護事業者・当事者・家族等による協議を通して、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業所、市町村における障害保健福祉の担当部局、保健所、都道府県における精神科医療及び障害保健福祉の担当部局等の関係者間の顔の見える関係を構築します。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めていきます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めていきます。	2-8 市町村ごとの保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置状況
2-(1)-⑬	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑬ 障害保健福祉圏域ごとの協議の場において、地域の課題等を共有化するとともに、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築状況、評価を行い、地域に必要な基盤整備について検討します。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めていきます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用し、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じた相談支援が行える関係を構築する取組に努めていきます。	2-7 地域の精神保健医療体制の基盤整備量
2-(1)-⑭	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑭ 入院患者の高齢化が進んでいるため、高齢の入院患者の地域移行について、障害保健福祉圏域ごとの協議の場において対策を検討します。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害保健福祉圏域ごとに協議の場を設置し、地域の課題に応じた長期入院患者に対する退院支援についての検討を進めました。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害保健福祉圏域ごとに協議の場を設置し、地域の課題に応じた長期入院患者に対する退院支援についての検討を進めます。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害保健福祉圏域ごとに協議の場を設置し、地域の課題に応じた長期入院患者に対する退院支援についての検討を進めました。	・引き続き、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害保健福祉圏域ごとに協議の場を設置し、地域の課題に応じた長期入院患者に対する退院支援についての検討を進めます。	2-2 精神病床における65歳以上の1年以上長期入院患者数 2-3 精神病床における65歳未満の1年以上長期入院患者数
2-(1)-⑮	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑮ 精神障害のある人の地域生活支援及び精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築についての理解促進のため、医療機関・障害福祉サービス事業所等の地域移行関係職員に対して、研修を実施します。	・地域移行や退院支援についての研修を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築について関係者に対しての普及啓発を行いました。	・地域移行や退院支援についての研修を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築について関係者に対しての普及啓発を行います。	・地域移行や退院支援についての研修を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築について関係者に対しての普及啓発を行いました。	・引き続き、地域移行や退院支援についての研修を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築について関係者に対しての普及啓発を行います。	
2-(1)-⑯	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑯ 精神障害のある人の実情や地域での生活について理解を広げるため、心のふれあいフェスティバルや心の健康フェア等、精神障害のある人と地域住民が触れ合う機会を提供し、関係団体と連携した普及啓発に努めます。	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に鑑み、心の健康フェア及び心のふれあいフェスティバルの開催を動画配信で実施、普及啓発に努めました。	・心のふれあいフェスティバルや心の健康フェア等を実施し、普及啓発に努めます。	・R4.4.27に心のふれあいフェスティバルを千葉市文化センターにて開催し、245名の来場があった。実施内容:演芸大会、ポスター原画展、作品展示、心のよろず相談 ・R4.11.5に心の健康フェアを青葉の森芸術文化ホールにて開催し、265名の来場があった。内容:講演、当事者メッセージ発表、表彰、心の健康相談	・R5.4.26に心のふれあいフェスティバルを千葉市文化センターにて開催した。 ・R5.11.8に心の健康フェアを青葉の森芸術文化ホールにて開催予定であり、現在実行委員会にて準備を進めている。	
2-(1)-⑰	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑰ 子どもたちに対し、精神障害についての理解促進及び精神疾患の早期発見につなげるため、学校におけるメンタルヘルス教育の推進に向けて、教育機関への働きかけを行います。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害についての理解促進及び精神疾患の早期発見につなげるため、学校におけるメンタルヘルス教育の推進に向けて、教育機関への働きかけを行いました。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害についての理解促進及び精神疾患の早期発見につなげるため、学校におけるメンタルヘルス教育の推進に向けて、教育機関への働きかけを行います。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害についての理解促進及び精神疾患の早期発見につなげるため、学校におけるメンタルヘルス教育の推進に向けて、教育機関への働きかけを行いました。	・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において、障害福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、精神障害についての理解促進及び精神疾患の早期発見につなげるため、学校におけるメンタルヘルス教育の推進に向けて、教育機関への働きかけを行います。	
2-(1)-⑱	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑱ 重度心身障害者(児)医療費助成制度については、全国統一の公費負担医療制度を創設するよう、国に要望しています。	・令和3年度も、市町村に対し、補助を行いました。 ・他県と連携して国への要望を実施しました。 ・本県の制度において、令和2年8月から精神障害者への対象拡大を実施しました。	・今年度も、市町村に対し、補助を行います。 ・他県と連携して国への要望を実施します。	精神班該当なし	精神班該当なし	
2-(1)-⑲	2精神障害のある人の地域生活の推進	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	⑲ 措置入院者及び医療保護入院者の退院後の支援については、国の動向を踏まえ、本県の必要な取組について検討します。	・退院支援状況の確認を行い、円滑な運用の支援を図りました。	・円滑な退院後支援が行えるよう、マニュアルの運用状況を定期的に確認し、必要な改訂を進めます。	・退院支援状況の確認を行い、円滑な運用の支援を図りました。	・円滑な退院後支援が行えるよう、マニュアルの運用状況を定期的に確認し、必要な改訂を進めます。	

施策番号	主要施策	基本施策	取組の方向性	3年度の取組結果	取組結果への対応 (3→4年度)	4年度の取組結果	取組結果への対応 (4→5年度)	関連数値目標
3-(5)-⑤	3障害のある人への理解を 広げ権利を擁護する取組の推進	(5) 手話通訳等の人材育成、手話等の普及促進	⑤ 失語症者向け意思疎通支援者については、引き続き県で養成講習を行うとともに、市町村での派遣事業の実施について働きかけていきます。	・失語者向け意思疎通支援者育成のため、県言語聴覚士会へ委託し、養成研修を実施した。	・養成研修の充実を図り、失語症の理解がさらに広がるよう取り組む。	・失語者向け意思疎通支援者育成のため、県言語聴覚士会へ委託し、養成研修を実施した。	・養成研修の充実を図り、失語症の理解がさらに広がるよう取り組む。	3-12 失語症者向け意思疎通支援者実養成講習修了見込者数
5-(1)-⑨	5障害のある人の相談支援体制の充実	(1) 地域における相談支援体制の充実	⑨ 高次脳機能障害及びその関連障害のある人に対しては、4箇所の支援拠点機関を中心に、高次脳機能障害に対する理解の普及・啓発を図るとともに、早期に専門的な相談支援につながるよう地域におけるネットワークの拡大・強化に取り組めます。	・千葉リハビリテーションセンター等4カ所を地域支援拠点拠点として設置し、支援コーディネーターを中心に機能回復・社会復帰に向けた訓練や相談支援ができるよう、体制整備を進めました。	・支援拠点機関を中心に、相談支援の充実や関係機関との連携を強化し、高次脳機能障害に対する理解の普及・啓発を図り、地域におけるネットワークの拡大・強化に取り組めます。	・千葉リハビリテーションセンター等4カ所を地域支援拠点拠点として設置し、支援コーディネーターを中心に機能回復・社会復帰に向けた訓練や相談支援ができるよう、体制整備を進めました。	・支援拠点機関を中心に、相談支援の充実や関係機関との連携を強化し、高次脳機能障害に対する理解の普及・啓発を図り、地域におけるネットワークの拡大・強化に取り組めます。	
7-(1)-③	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(1) 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害者に対する支援の推進	③ 高次脳機能障害及びその関連障害のある人に対する支援については、各支援拠点機関を中心に、高次脳機能障害に対する普及啓発を行い、早期に専門的な相談支援・訓練につながるよう努めるとともに、支援者の育成や地域連携の拡大・強化に取り組めます。また、地域生活の安定や就労定着につながるよう、支援の方法等について検討します。	・千葉リハビリテーションセンター等4カ所を地域支援拠点拠点として支援コーディネーターの研修を行うとともに、コーディネーターを中心に機能回復や社会復帰に向けた訓練、相談支援に取り組めました。	・高次脳機能障害に対する普及啓発を行い、早期に専門的な相談支援や訓練につながるよう努めるとともに、地域の支援者の養成に取り組めます。	・千葉リハビリテーションセンター等4カ所を地域支援拠点拠点として支援コーディネーターの研修を行うとともに、コーディネーターを中心に機能回復や社会復帰に向けた訓練、相談支援に取り組めました。	・高次脳機能障害に対する普及啓発を行い、早期に専門的な相談支援や訓練につながるよう努めるとともに、地域の支援者の養成に取り組めます。	
7-(3)-①	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(3) 重度・重複障害のある人の負担軽減の推進	① 重度心身障害のある人の医療費については、引き続き、市町村が実施する助成制度に対して補助を行うとともに、全国統一の公費負担医療制度を創設するよう国に要望していきます。	・本県の制度において、令和2年8月から精神障害者への対象拡大を実施しました。 ・令和3年度も、市町村に対し、補助を行いました。 ・他県と連携して国への要望を実施しました。	・令和4年度も、市町村に対し、補助を行います。 ・他県と連携して国への要望を実施します。	精神班該当なし	精神班該当なし	
7-(4)-①	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(4) ひきこもりに関する支援の推進	① ひきこもり地域支援センターにおいて、相談対応とアウトリーチ型の支援を充実するとともに、地域の支援者を対象とした研修の開催や同行訪問などにより市町村等との連携強化を図ります。また、「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」や「千葉県子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図ります。	・ひきこもり地域支援センターにおいて、電話相談、面接等の支援を行いました。また、「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」や「千葉県子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図りました。	・ひきこもり地域支援センターにおいて、相談対応を行うとともに、ひきこもり支援サポーターの養成のための研修の開催を行います。また、「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」や「千葉県子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図ります。	・ひきこもり地域支援センターにおいて、電話相談、面接等の支援を行いました。また、「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」や「千葉県子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図りました。その他、市町村担当者研修及び、ひきこもりサポーター養成研修を開催し、市町村における支援体制の構築の後方支援を行いました。	・ひきこもり地域支援センターにおいて、相談対応を行うとともに、市町村担当者研修及びひきこもりサポーターの養成研修を開催し、市町村における支援体制の構築の後方支援を行います。また、「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」や「千葉県子ども・若者育成支援協議会」等を通じて、関係機関の連携体制の構築を図ります。	
7-(4)-③	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(4) ひきこもりに関する支援の推進	③ 市町村におけるひきこもり相談窓口や市町村プラットフォームの設置・運営状況を把握するとともに、それらの取組の意義や目的についての理解促進に努めます。	・「市町村ひきこもり支援担当者会議」を開催し、各市町村のひきこもり支援の窓口や市町村プラットフォームの設置状況を把握しました。また、会議の中で、それらの状況を共有するとともに、取組の意義や目的についての理解促進のため、厚生労働省担当者からの説明や、各市町村からの報告を行いました。	・市町村のひきこもり支援担当者会議を開催し、相談窓口や市町村プラットフォームの設置状況を把握し、それらの取組の意義や目的についての理解促進に努めます。	・「市町村ひきこもり支援担当者会議」を開催し、各市町村のひきこもり支援の窓口や市町村プラットフォームの設置状況を把握しました。また、会議の中で、それらの状況を共有するとともに、取組の意義や目的についての理解促進のため、厚生労働省担当者からの説明や、各市町村からの報告を行いました。	・市町村のひきこもり支援担当者会議を開催し、相談窓口や市町村プラットフォームの設置状況を把握し、それらの取組の意義や目的についての理解促進に努めます。	
7-(5)-③	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(5) 矯正施設からの出所者等に対する支援の推進	③ 医療観察法の対象者に対する支援について、保護観察所等の関係機関と連携の下、社会復帰できるよう支援を行います。	・保護観察所主催の会議に参加し、関係機関と連携のもと医療観察法の対象者に対する支援を行いました。	・保護観察所主催の会議に参加し、関係機関と連携のもと医療観察法の対象者に対する支援を行います。	・保護観察所主催の会議に参加し、関係機関と連携のもと医療観察法の対象者に対する支援を行いました。	・引き続き、保護観察所主催の会議等に参加し、関係機関と連携のもと医療観察法の対象者に対する支援を行います。	
8-(3)-⑭	8様々な視点から取り組むべき事項	(3) 保健と医療に関する支援	⑭ 県民への精神疾患及び心の健康に関する正しい知識の普及に取り組むため、精神保健福祉センター、保健所(健康福祉センター)、市町村、教育機関、精神医療保健福祉関係団体が相互に連携してこころの健康の保持・増進について継続して普及啓発を行うとともに、相談窓口の一層の周知を図ります。また、市町村における相談支援機能の充実を図るために、相談支援に携わる専門職員に対する研修の拡充を図るとともに、市町村職員とともに相談やアウトリーチを行い、技術指導・支援を推進します。	・精神保健福祉センターや保健所で依存症、ひきこもり、心の健康相談などに応じるとともに、市町村や施設職員などを対象とした研修を実施しました。	・精神保健福祉センターや保健所で相談に応じるとともに、市町村や施設職員などを対象とした研修の充実を図ります。	・精神保健福祉センターや各保健所において依存症、ひきこもり、心の健康相談などに応じるとともに、市町村や施設職員などを対象とした研修を実施しました。	・引き続き、精神保健福祉センターや各保健所において相談に応じるとともに、市町村や施設職員などを対象とした研修の充実を図ります。	
8-(3)-⑮	8様々な視点から取り組むべき事項	(3) 保健と医療に関する支援	⑮ 発症からできるだけ早期に精神科に受診できるよう、保健サービスや一般の医療機関に対し、精神疾患に関する研修を開催するなど、人材育成を図ります。また、精神科医療機関との連携体制を整備します。 精神障害のある人が身近な地域で心身の状態に応じた良質かつ適切な医療を受けることができるよう、統合失調症、気分(感情)障害、依存症などの多様な精神疾患等ごとに対応できる医療機関を明確にした上で、精神医療圏(二次医療圏)及び県全体での協議の場を通じて、多様な精神疾患に対応できる医療連携体制の構築を図ります。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を通して、障害保健福祉圏域ごとに地域の課題やニーズに応じて、入院中の精神障害者の地域移行・地域定着の促進に係る検討を進めます。	
8-(3)-⑯	8様々な視点から取り組むべき事項	(3) 保健と医療に関する支援	⑯ 精神科医療機関及び関係機関の協力の下に、入院中心の医療から、地域での生活を支える医療体制・機能の充実に向けて取り組めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用して、圏域ごとに設置している推進会議の構成員である精神科病院の意見等を踏まえながら、精神障害者を取りまく医療体制の構築、地域生活の支援、住まいの確保支援などの事業を進めました。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用して、精神障害者の地域での生活を支える医療体制・機能の充実に取り組めます。	・地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用して、精神障害者の地域での生活を支える医療体制・機能の充実に取り組めます。また、精神障害者を取りまく医療体制の構築、地域生活の支援、住まいの確保支援などの事業を進めました。	・引き続き、地域包括ケアシステムにおける協議の場等を活用して、精神障害者の地域での生活を支える医療体制・機能の充実に取り組めます。	
8-(5)-交-①	8様々な視点から取り組むべき事項	(5) 住まいとまちづくりに関する支援	① 障害のある人の快適で暮らしやすい生活環境づくりを支援するために、障害のある人に対するJR等鉄道会社の旅客運賃割引については、距離制限を撤廃し、有料道路通行料金の割引については、車両制限を撤廃するよう関係機関に求めていきます。また、精神障害者保健福祉手帳に写真が貼付され、身体障害者手帳・療育手帳と同様に身分証明書として使用できるようになったことから、身体・知的障害者施策同様に、JR等旅客運賃、航空旅客運賃、有料道路通行料金等の割引を広く障害のある人に適用するよう、各種の機会を通じて国など関係機関に働きかけていきます。	・令和3年度16都道府県障害福祉主管課長会議及び、全国主要都道府県民生主管部(局)長連絡協議会を通じて、内閣府、厚生労働省に要望を行いました。	・引き続き、各種の機会を通じて国などの関係機関へ、働きかけを行います。	・全国主要都道府県民生主管部(局)長連絡協議会を通じて、国に対して要望を行いました。	・引き続き、各種の機会を通じて国などの関係機関へ、働きかけを行います。	
8-(6)-⑥	8様々な視点から取り組むべき事項	(6) 暮らしの安全・安心に関する支援	⑥ 大規模災害時における支援体制については、実践的な訓練が必要であるため、引き続き防災訓練への参加や、DMAT等との合同訓練を実施していきます。また、DPATについては、より多くのチームを派遣できるようにするため、養成研修を継続的に開催しチーム数を増やすとともに、構成員の資質向上のためのフォローアップ研修や、災害時に迅速かつ適切に支援活動が行えるよう、消防や他の医療チームとの合同研修に参加し、体制を強化します。 千葉県災害福祉支援チーム・DWATについては、災害時、チームの避難所における支援活動が円滑に行えるよう、今後、防災訓練への参加やチーム員への研修の充実を図り、派遣体制を強化します。	・GLDMATの技能維持研修を開催することにより、災害時に備えた体制整備としてGLDMATチームの育成に努めました。 ・県内のDPATチームを要請するための「千葉DPAT研修」を開催し、実践訓練を行いました。その他、大規模地震時政府訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、DPATについては、訓練の被害想定範囲外の都道府県は参加ができなかったため、参加はありませんでした。 ・DWATについては、令和2年度に引き続きチーム員登録研修を実施しました。172名を新たに登録し、チーム員は合計で323名となりました。また、チームリーダー等養成研修、先遣チーム員養成研修も実施し、派遣体制の強化に努めました。	・引き続き、DMATチーム等の育成を継続し、災害医療体制の充実・強化に努めます。防災訓練への参加や、DMAT等との合同訓練を実施します。また、DPATについては、より多くのチームを派遣できるようにするため、養成研修を継続的に開催しチーム数を増やすとともに、構成員の資質向上のためのフォローアップ研修を行います。その他、災害時に迅速かつ適切に支援活動が行えるよう、他の医療チームとの合同研修に参加し、体制を強化します。 ・令和4年度も引き続き各種研修を実施します。また、昨年中止となった九都県市合同防災訓練への参加や、派遣シミュレーション訓練の実施も予定しています。(DWAT)	・県内のDPATチームを要請するための「千葉DPAT研修」を開催し、実践訓練を行いました。また、DPATの新規養成研修の他、技能維持研修を開催することにより、災害時に備えた体制整備としてDPATチームの育成に努めました。 ・その他、大規模地震時政府訓練に先遣隊2チームが参加し、南海トラフ地震を想定した実践訓練を行いました(愛知県のDPAT調整本部にて活動)。 ・県内DPAT関係者との情報共有を行うための緊急時の連絡体制の構築や、年2会の運営会議の開催を行いました。	・引き続き、DPAT隊員の育成を継続し、災害医療体制の充実・強化に努めます。 ・政府訓練や防災訓練への参加し、災害時に迅速かつ適切に支援活動が行えるよう、DMAT等の他の医療チームとの合同研修に参加し、体制を強化します。 ・また、DPATについては、より多くのチームを派遣できるようにするため、養成研修を継続的に開催し、隊員数を増やすとともに、構成員の資質向上、技能維持のためのフォローアップ研修(技能維持研修)を行います。その他、	
8-(6)-⑩	8様々な視点から取り組むべき事項	(6) 暮らしの安全・安心に関する支援	⑩ 障害者支援施設等における感染症対策として、情報提供や研修等を実施するほか、障害のある人等が感染した際の受入先の確保が困難であることから、受入先を事前に確保していきます。クラスターが発生した施設に対しては、クラスター等対策チームを派遣し、感染拡大防止等のクラスター対策を行います。また、必要に応じて関係団体と連携しながら応援職員を派遣するとともに防護員の配布を行い、施設機能の維持に努めます。	・障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所に対して、感染症リーダーの設置を依頼し、感染症リーダー向けの研修を実施しました。 また、クラスターが発生した障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所に対して、必要に応じ防護員等を配布しました。	・障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所に対して、感染症リーダーの設置や感染症リーダー研修の視聴を周知します。 また、クラスターが発生した障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所に対して、必要に応じ防護員等を配布します。	精神班該当なし	精神班該当なし	